

教科	社会科	学年	第 3 学年	担当者	由良 広海
[教科目標]					
社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。					
[使用教科書・教材等]					
新しい社会 歴史・公民（東京書籍）、歴史の完全学習 2・3 公民の完全学習 3年間の総整理問題集 A4 ファイル					
[学習計画]					
学期	単 元 名	学 習 の ね ら い（身につけたい力）			準備物
1 学 期	近代と現代の日本と世界 日清・日露戦争と東アジアの動き 近代日本の社会と文化 第一次世界大戦と戦後の世界 大正デモクラシーの時代 第二次世界大戦と日本 新しい日本と世界 現代社会と私たちの生活 1 現代社会の特色と私たち 2 私たちの生活と文化 3 現代社会の見方や考え方 個人の尊重と日本国憲法 1 人権と日本国憲法 2 人権と共生社会 3 これからの人権保障	・東アジアの動きを背景に日本が戦争に至るまでの動き、戦争のあらましと内外の 反応、韓国 の植民地化がわかる。 ・日本の産業革命と近代文化の特色がわかる。 ・政党政治の発展と米騒動から社会運動への広がりがわかる。 ・世界恐慌が各国にどのような影響を与えていくのかを理解する。 ・そのことが再び世界を巻き込む戦争に発展していく 動きを理解する。 ・戦後、平和を希求する動きと同時に絶えない紛争の動きを理解し、日本の果たす役割を考える。 ・現代社会の特色であるグローバル化、情報化、少子高齢化を理解し、それらが政治、経済、国 際関係に影響を与えていることや現代社会における文化の意義や影響について理解する。 ・現代社会を捉える見方や考え方の基礎として、対立と合意、効率と公正などの見方や考え方 があることを、具体的な社会生活と関連づけて理解する。 ・個人の尊重の考え方や法の意義について、基本的人権や日本国憲法の役割を中心に、具体的な 活動を通して意欲的に追究する。 ・日本国憲法の基本原理（国民主権、平和主義、基本的人権の尊重）について、具体的な生活 との関わりを通して理解する。			教科書 ノート 地図帳 問題集
2 学 期	現代の民主政治と社会 1 現代の民主政治 2 国の政治の仕組み 3 地方政治と私たち 私たちの暮らしと経済 1 消費生活と経済 2 生産と労働 3 価格の働きと金融 4 政府の役割と国民の福祉 5 これからの経済と社会	・身近で具体的な事例を通して政治に関心を持ち、主権者として政治に積極的に関わろうとする 意欲と態度を育てる。 ・選挙をはじめとする国民の政治参加によって、より良い民主政治が運営されることに気づき、 良識ある主権者としての政治参加の在り方について考える。 ・議会制民主主義の意義や、国会を中心とする国政のあらまし、地方自治の考え方について理解 する。 ・経済活動が、人間生活の維持・向上のために欠かすことのできないものであることを、身近な 消費生活を通して理解する。 ・無限で多様な人々の欲求に対して、社会の資源は有限であり、その資源からどの財やサービス を生産するか価格を考慮して選択するという、市場経済の基本的な考え方を理解し、現代の生 産や金融などの仕組みや働き、企業の役割と責任について考える。 ・国民の生活と福祉の向上を図るために、市場の働きに委ねることが難しい諸課題の解決におい て、政府が果たしている経済的な役割に気づくとともに、財源の確保と配分という観点から財 政の在り方について考える。			教科書 ノート 地図帳 問題集
3 学 期	地球社会と私たち 1 国際社会の仕組み 2 さまざまな国際社会 3 これからの地球社会と日本	・国際社会の現状や諸課題について関心を持ち、日本の果たすべき役割について考えるとともに、 世界平和の実現と人類の福祉の増大に向けての熱意と協力しようとする態度を育てる。 ・国際的な相互依存関係の深まりの中で、世界平和の実現と人類の福祉の増大のために、各国が 相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことが重要であることに気づく。 ・国際社会における国家や国際機構、NGO の役割や、それらが国際社会の諸課題を解決するた めに行っている取り組みについて理解する。			教科書 ノート 地図帳 問題集

[評価の観点と評価の方法]（通知表のつけ方）[授業の受け方・学習のポイント]（担当の先生からのアドバイス）

評価の観点と	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態	評価への総括
評価の観点の趣旨	社会的事象の基本的な事項を理解するとともに、効果的に調べまどめる技能を身につけている。	社会的事象について、多面的多角的な考察、課題解決に向けて判断する力、思考・判断したことを説明し議論する力を身につけている。	社会的事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとしている。	3つの観点は1：1：1で評価に反映させる。
評価の方法	<u>テスト</u> レポート・ワークシート	テスト <u>レポート・ワークシート</u> <u>授業のふり返し</u>	学習における行動（発言内容やノートのまとめ等） <u>レポート・ワークシート</u> <u>単元のまとめ（振り返り）</u> テスト	各観点において 太字 の項目を重視し、評価する。

- ・授業では「覚える」以上に「考える」ことが大事です。「なぜ」「どうして」を大事にして、とことん考えながら授業に参加しよう。
・ノートづくりに力を入れよう。余白にどんどん書き込んでいこう。單元ごとのまとめりで身につけたこと、変化したことを大事にしましょう。
・「主体的な学び」が大事です。挙手や発表を積極的に行い、授業に参加しましょう。毎時間の授業を大事にすること。

[家庭学習の進め方・学習のポイント]（担当の先生からのアドバイス）

- ・家庭学習では「覚える」ことが大事です。予習・復習の中で、学習した内容を確実に知識として定着させましょう。
・テスト前には、カードやノートに大事な内容をまとめ、重要用語を覚える学習を開始しましょう。テスト直前には問題集に取り組み、実力を伸ばしましょう。單元ごとのまとめができるよう、日々の授業のふり返しを確認しておきましょう。
・新聞やニュースに親しむことによって、社会科で学習した知識に血肉が加えられ、深められます。社会科に対する興味や関心が 確実にアップします。